

# 鉄道復旧について

## 不通区間の運行形態

本数	3 往復
駅	8 駅
所要時間	44 分



## 復旧費

約 81 億円 ※工期約3年

第5只見川橋りょう



第7只見川橋りょう



第6只見川橋りょう



第8只見川橋りょう



※これまで復旧工事及び流出した橋桁の撤去工事に投じた費用は約28億円

## 不通区間の収支(2009年度) (単位:億円)

営業収益	0.05
運賃収入	0.05
その他の収入	0
営業費	3.35
列車運行にかかる経費(運営費)	2.80
乗務員にかかる経費	0.46
車両の保守にかかる経費	0.25
線路の保守にかかる経費	1.72
信号・電気の保守にかかる経費	0.38
駅業務にかかる経費	0
その他の経費	0.55
固定資産税	0.12
減価償却費	0.42
営業損益	▲3.29
営業費/営業収益	67.0

### 「運行経費の例」

乗務員



### 「車両経費の例」

鉄道車両



## 運営費(2009年度)

運行経費	0.46 億円/年	計 2.80 億円/年 ※設備強化等で資本的支出を行った場合は、別途費用が発生することがある
車両経費	0.25 億円/年	
鉄道施設経費	2.10 億円/年	

### 「鉄道施設経費の例」

鉄道線路、信号機



土木構造物

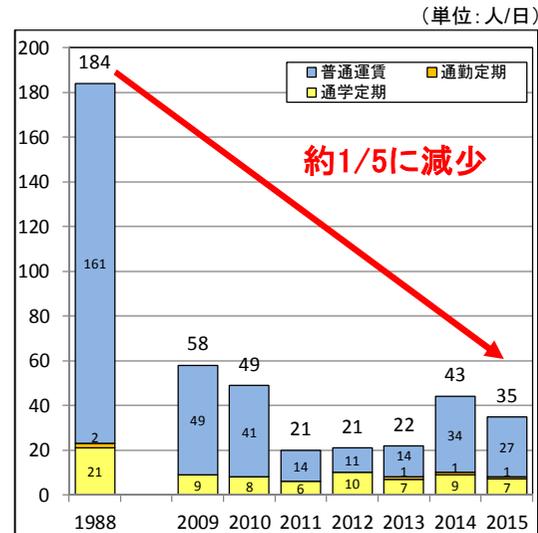


駅設備

除雪



## 不通区間のご利用状況(平均通過人員) (単位:人/日)



## 復旧費の更なる負担

+

## 運営費の負担

鉄道復旧のためには、「上下分離方式」も含めた負担のあり方の検討が必要

### 上下分離方式の例

JR東日本

運行

車両

貸与※

メンテ委託

地元

鉄道施設

土地

※実質無償での貸与

# バス転換について

## 運行形態

JR東日本の責任において 運行を確保		
本数	6.5 往復	
停留所	11 停留所+α	
所要時間	50 分	

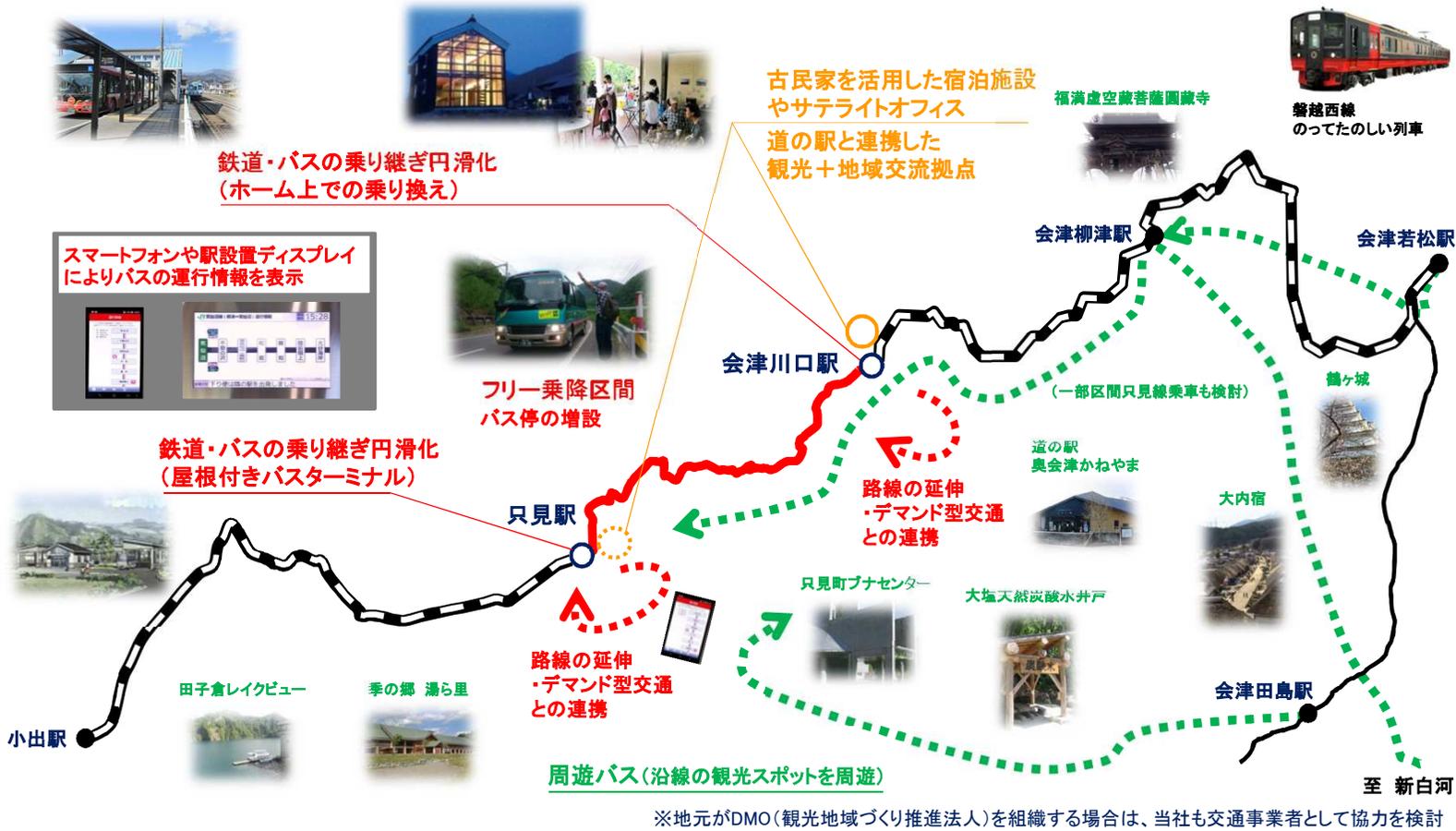


## 収支(2015年度)

収入	約 0.03 億円/年
運営費	約 0.53 億円/年

## ※バス転換とした場合の地域振興策(検討イメージ)

※復旧費・運営費の一部を鉄道とバス等との連携強化、観光誘客、滞在施設(観光、ビジネス)、交流施設(観光客、住民)などに投じた例

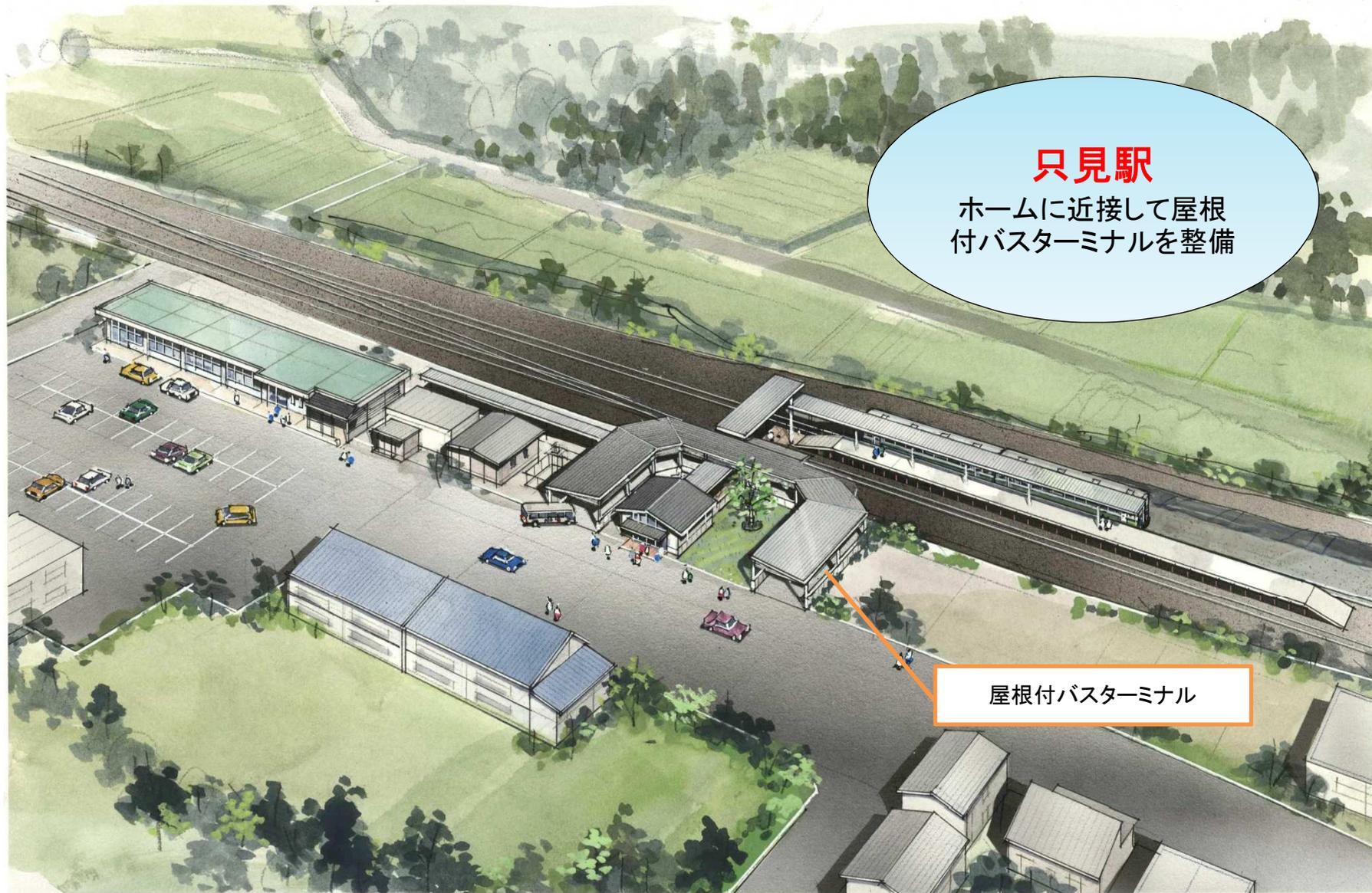


## (継続する取り組み) イベント列車の運行や旅行商品の設定等



# バス転換とした場合の地域振興策(検討イメージ)

## ①鉄道とバス等との連携強化イメージ【只見駅】



### 只見駅

ホームに近接して屋根付バスターミナルを整備

屋根付バスターミナル

## ② 鉄道とバス等との連携強化イメージ【会津川口駅】



### ③フリー乗降区間とバス停の増設について

#### 【フリー乗降】

区間内であれば停留所以外の場所でも自由に乗り降り可能



【バス停増設】地元のご要望に応じて増設も可能

(現在は、3箇所のバス停を増設)





## ⑤ 鉄道とバス等との連携強化イメージ【運行情報表示】

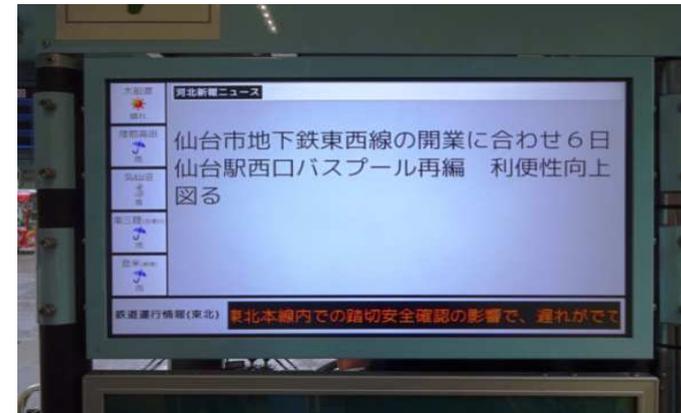
・ディスプレイやスマートフォンを活用し、リアルタイムに運行情報等の表示

### ○ 車内ディスプレイ

● 料金・停留所表示の例



● 地域ニュース表示の例



### ○ 駅ディスプレイ



### ○ スマートフォン



## ⑥観光誘客イメージ【周遊バスコース例】



### ①奥会津の歴史と自然に触れるコース(ターゲットは「大人の休日倶楽部世代」)

#### 「1日目」の主な行程

新白河駅 → 大内宿(昼食) → 会津柳津駅  
 会津若松駅 → 鶴ヶ城(昼食) → 会津柳津駅 → 只見線乗車 → 会津中川駅  
 → 道の駅奥会津かねやま → 小栗山温泉、玉梨温泉等

#### 「2日目」の主な行程

小栗山温泉、玉梨温泉等 → 河井継之助記念館 → お食事(そば)  
 → 葉津番所 → 三石神社 → 只見駅

### ②奥会津の自然を体験するコース(ターゲットは「家族連れ」)

#### 「1日目」の主な行程

会津田島駅 → 恵みの森 → 森林の分校・ふざわ(昼食) → 農業体験  
 → 季の郷湯ら里

#### 「2日目」の主な行程

季の郷湯ら里 → 大塩天然炭酸水井戸 → お食事(ケバブ)  
 → 田子倉レイクビュー → 只見駅

※あくまでコースイメージであり、詳細な内容は別途検討

# ⑦滞在施設・交流施設イメージ【古民家を活用した宿泊施設やサテライトオフィス等】

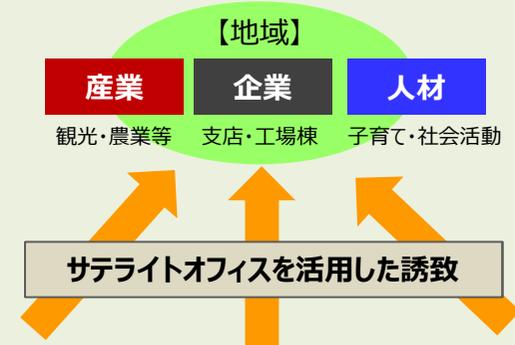
## 「観光宿泊需要の創出」

- ・只見川やブナ林の美しい景観と「温泉王国」のブランドイメージの明確化
- ・ニーズの変化に対応した宿泊施設づくりの提案（古民家等を活用）
- ・スポーツイベント等新たな需要の創出



## 「新たな滞在需要の掘り起こし」

- ・ICTインフラを整備したワークスペースによる「職+人」の誘致（サテライトオフィス）
- ・地域の古民家を活用



## 「地域活性化・雇用創出」

- ・道の駅と連携した「観光+地域交流拠点」づくりにより相乗効果を発揮
- ・六次産業化など地域の新たな魅力の開発
- ・地元企業の雇用創出



道の駅との相乗効果を発揮



来街者と地元住民の交流



# 只見線の状況について

2016年11月30日・12月1日  
東日本旅客鉄道株式会社

# 平成23年7月新潟・福島豪雨に伴う被害状況①

(会津若松～会津川口間、只見～小出間の主な被害)

2011年7月新潟・福島豪雨:2011年7月27日～30日

※只見雨量計 27日～30日の期間雨量 711.5mm、29日の日雨量430.0mm、最大時雨量69.5mm

90k980m付近 ムジナ沢橋りょう橋台洗掘



55k660m付近 第4只見川橋りょう橋桁損傷



118k350m付近 切取崩壊



59k910m、60k450m付近 護岸壁洗掘



上田ダム 会津水沼

会津川口

会津柳津

会津宮下

会津坂下

会津若松

30k700m付近 盛土崩壊



55k030m付近 路盤流失  
55k060m付近 土砂流入



52k520m付近 羽根沢橋りょう洗掘



89k700m付近、89k820m付近 土砂流入



小出

# 平成23年7月新潟・福島豪雨に伴う被害状況②

(会津川口～只見間の主な被害)



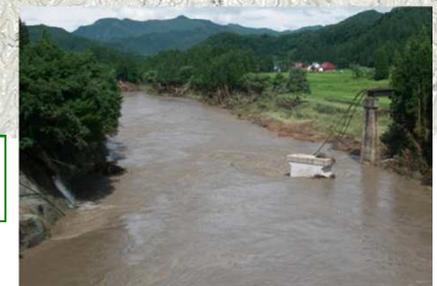
62k340m付近  
第5只見川橋りょう桁流失



81k420m付近第8只見川橋りょう付近  
・橋桁冠水、流木堆積、橋脚洗掘  
・盛土崩壊、路盤沈下、土留壁変状  
・土砂流入、土砂堆積等



64k090m付近  
第6只見川橋りょう桁流失



74k340m付近  
第7只見川橋りょう桁流失

※この他に斜面崩壊、軌道変状、信号・通信設備の損傷などがある。

# これまでに要した復旧費用



施工前



施工前



施工前



30k700m付近 盛土復旧(施工後)



第4只見川橋りょう(施工後)

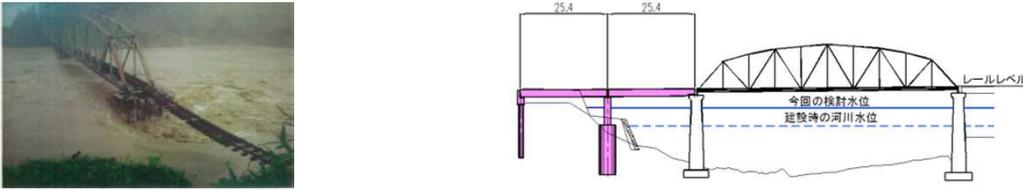
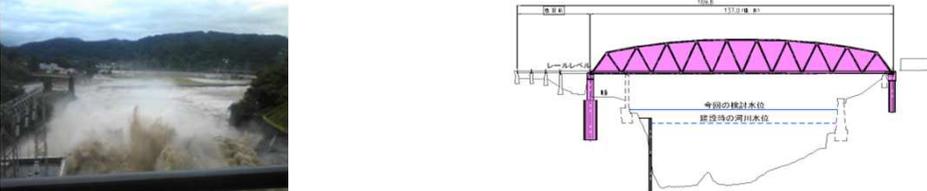
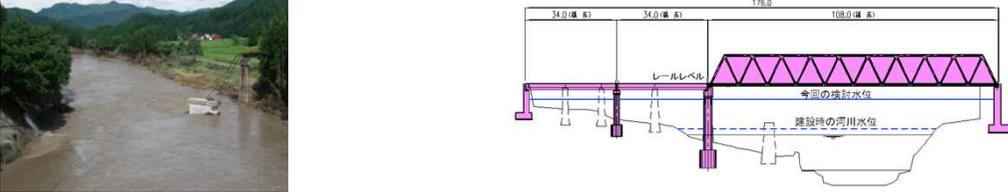
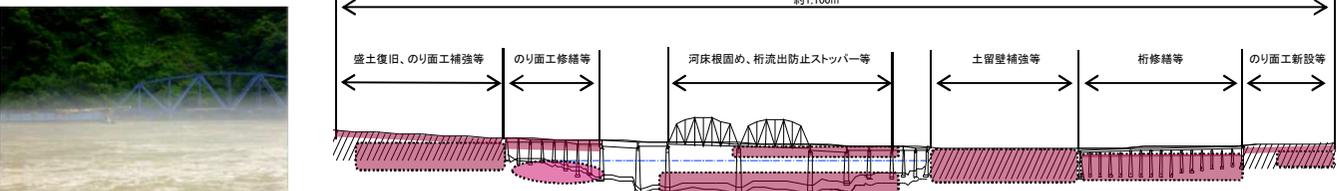


89k820m付近(第1赤沢雪覆い工)  
(施工後)

区間	会津坂下～ 会津川口間	会津川口～ 只見間	只見～ 大白川間	計
復旧工事費	約5億円	-	約2億円	約7億円
桁撤去費	-	約21億円	-	約21億円
計	約5億円	約21億円	約2億円	<b>約28億円</b>

只見線(全線)の旅客運輸収入 2010年度 1.7億円 (2009年度 1.8億円)

# 上下分離を前提とした只見線(会津川口～只見間)の復旧費用

<p>第5只見川橋りょう</p>		<p>約3億円</p>
<p>第6只見川橋りょう</p>		<p>約16億円</p>
<p>第7只見川橋りょう</p>		<p>約14億円</p>
<p>第8只見川橋りょう</p>		<p>約25億円</p>
<p>斜面・軌道・ 信号通信設備等</p>	 <p>斜面                      軌道                      信号設備                      その他</p>	<p>約23億円</p>
<p>合計</p>	<p>工期:約3年    ※工期は工事を着手してからの期間とする</p>	<p>約81億円</p>

※上記の工事費用は、施工条件等により増減する

# 路線別のご利用状況 2010年度路線別平均通過人員

○「平均通過人員」 → ご利用されるお客さまの1日1kmあたりの人数

※2010年度鉄道統計年報より  
(只見線被災前のデータ)

## JR東日本路線別の状況

(2010年度・在来線全67線区) (人/日)

1位	山手線	1,060,497
2位	埼京線	700,801
3位	東海道本線	335,552
4位	横浜線	221,110
5位	総武本線	201,534

～

63位	米坂線	424
64位	北上線	387
65位	山田線	377
<b>66位</b>	<b>只見線</b>	<b>370</b>
67位	岩泉線	29(※46)

全国のご利用の少ない路線(2010年度の下位10路線)

JR線	(人/日)	JR線以外	(人/日)
山田線(JR東日本)	377	由利高原鉄道	○ 492
<b>只見線(JR東日本)</b>	<b>370</b>	わたらせ渓谷鐵道	○ 490
日高線(JR北海道)	329	東海交通事業	490
名松線(JR東海)	291	三陸鉄道(北リアス線)	○ 480
予土線(JR四国)	248	津軽鉄道	455
木次線(JR西日本)	240	錦川鉄道	○ 399
留萌線(JR北海道)	182	長良川鉄道	○ 386
大糸線(JR西日本)	150	秋田内陸縦貫鉄道	○ 344
三江線(JR西日本)	66	三陸鉄道(南リアス線)	○ 254
岩泉線(JR東日本)	29(※46)	紀州鉄道	242
		阿佐海岸鉄道	○ 89

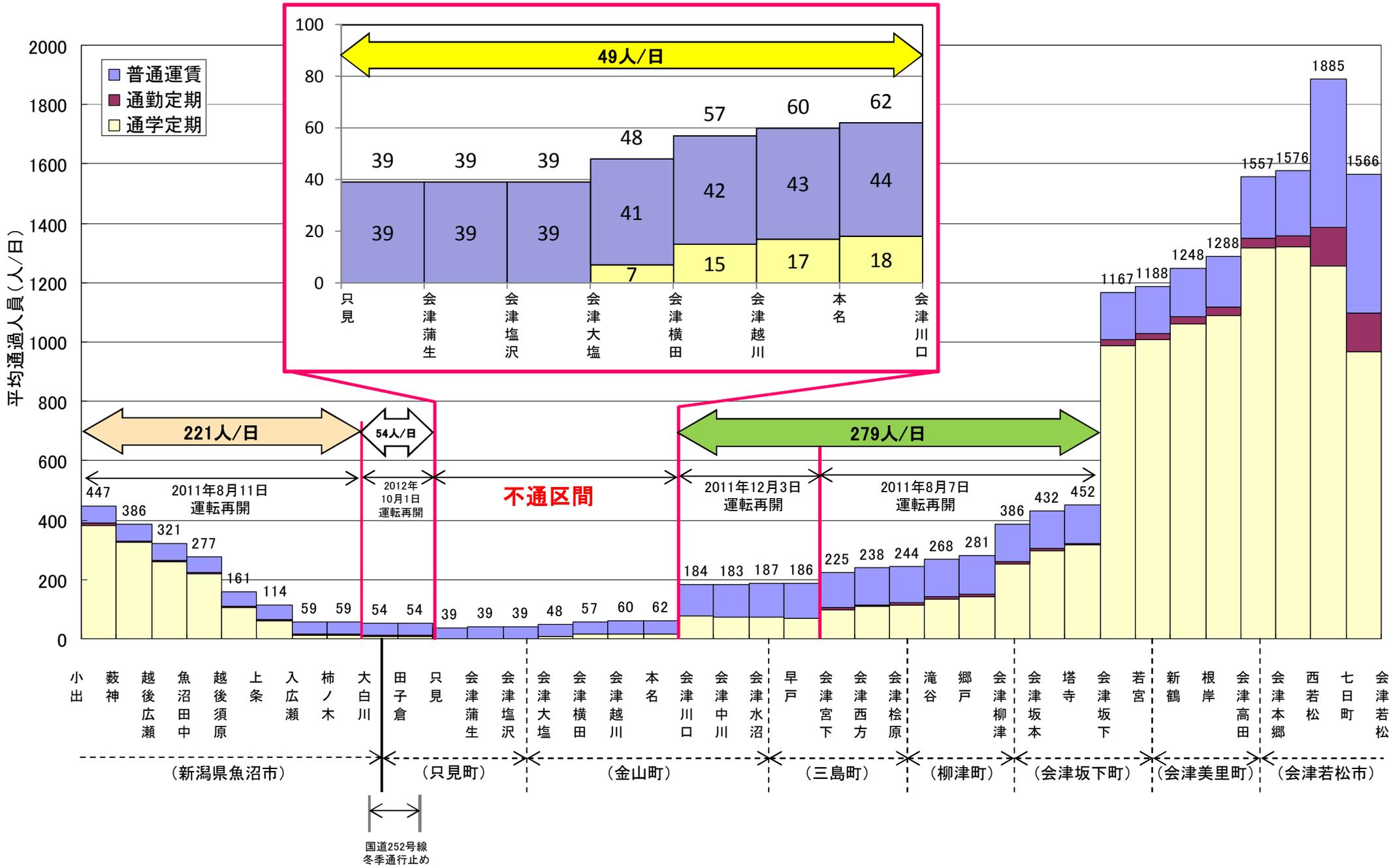
**只見線不通区間(会津川口～只見) 49**

(参考)会津鉄道756人/日、野岩鉄道708人/日

※岩泉線の鉄道時代の最後の年(2009年度)の平均通過人員は46人/日

「○」は  
第三セクター

# 全区間のご利用状況(平均通過人員)【2010年度】



# 平均通過人員と輸送力

○平均通過人員50人/日とは⇒片道あたり平均して25人が全区間を利用

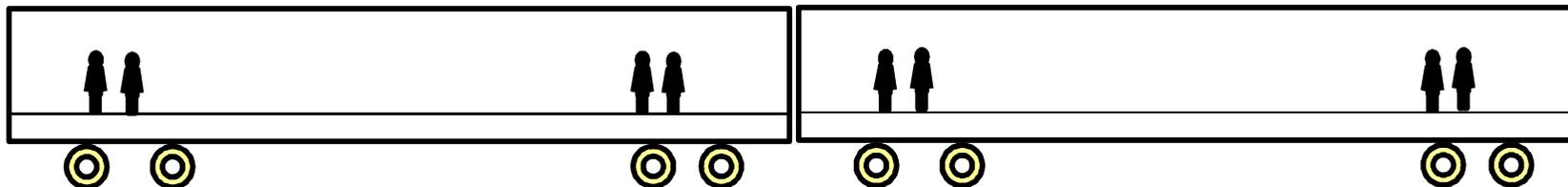
※例えば、6便/日(3往復)の場合、1便あたり平均して約8人が全区間を利用

○輸送力: 定員 × 編成両数

【キハ40系】 只見線で使用している気動車  
定員約130名 × 2両 = 約260名

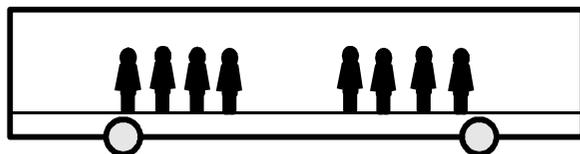


車内イメージ



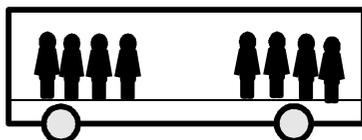
【大型バス】

定員約50名の場合



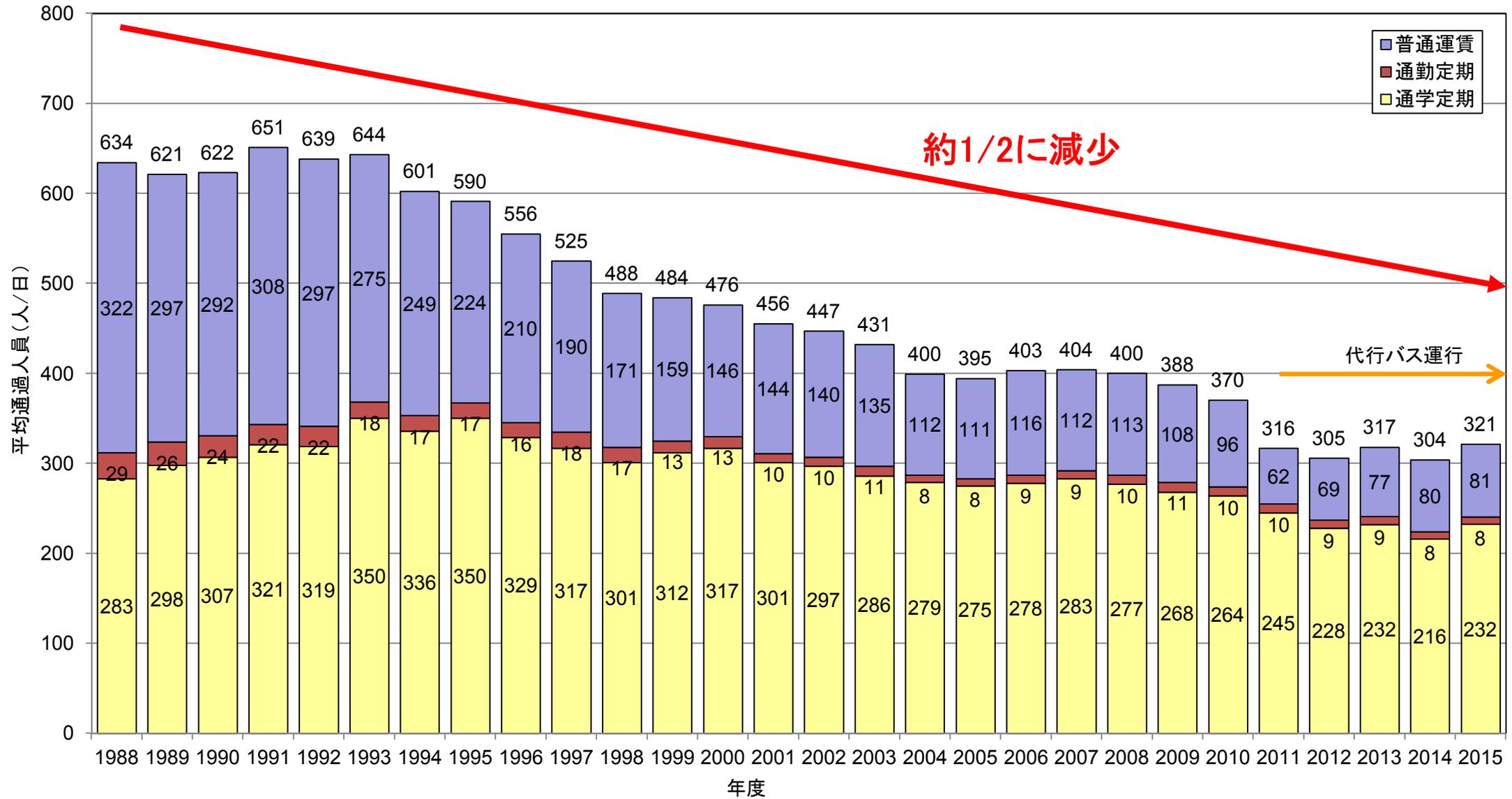
【マイクロバス】 日野リエッセII 日産シビリアン等

定員約25名の場合

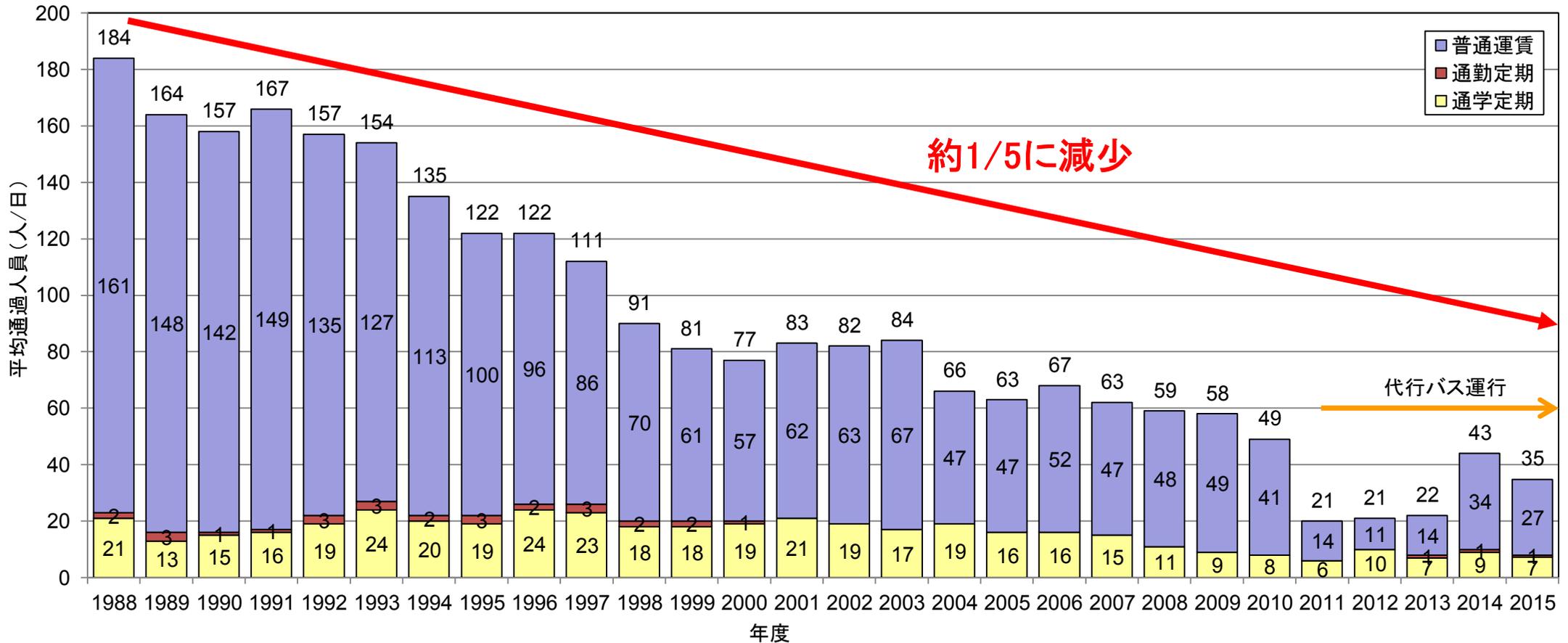


# ご利用状況の推移①・・・全線(会津若松～小出)

1988年度～2015年度



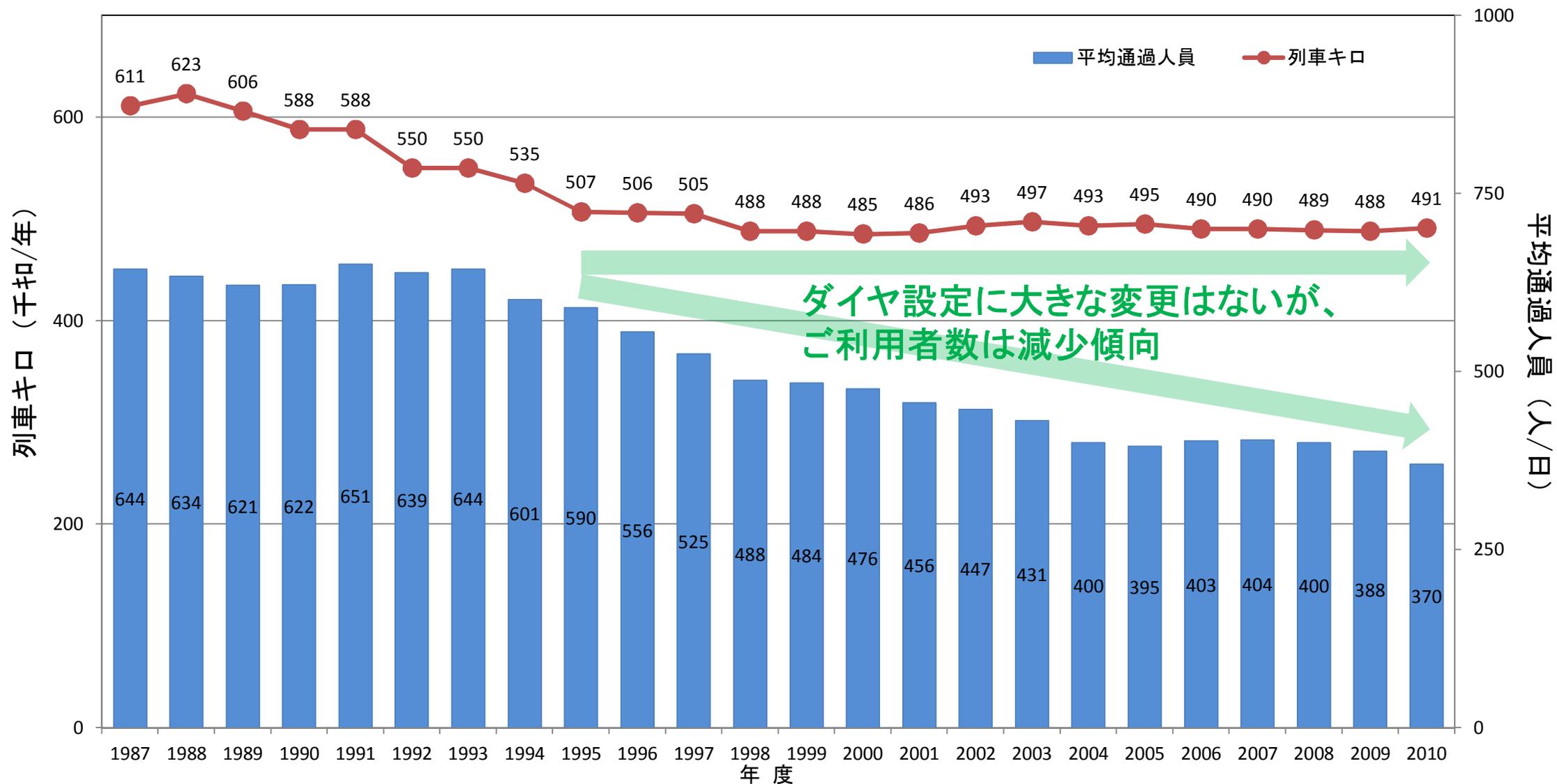
# ご利用状況の推移②・・・会津川口～只見 1988年度～2015年度



# ご利用状況と輸送力の推移・・・全線（会津若松～小出） 1987年度～2010年度

平均通過人員→ご利用されるお客さまの1日1kmあたりの人数

列車キロ →全列車の走行距離の合計



ダイヤ設定に大きな変更はないが、  
ご利用者数は減少傾向

※上記の表は、営業運転を行う定期列車や臨時列車の設定本数を基準に算出したものである。なお、会津鉄道直通列車は含まない。

# 代行バス(会津川口～只見)のご利用状況

2015年度(2015年4月～2016年3月)の平均乗車人員

2015年3月14日改正のダイヤ

下り	423便	425便	2425便	427便	2427便	431便
会津川口	8:15	10:20	14:10	15:35	17:35	19:08
川口高校前	8:16	10:21	14:11	15:36	17:36	19:09
本名	8:20	10:25	14:15	15:40	17:40	19:13
湯倉入口	8:23	10:28	14:18	15:43	17:43	19:16
会津越川	8:29	10:34	14:24	15:49	17:49	19:22
会津横田	8:34	10:39	14:29	15:54	17:54	19:27
会津大塩	8:38	10:43	14:33	15:58	17:58	19:31
会津塩沢	8:50	10:55	14:45	16:10	18:10	19:43
会津蒲生	8:57	11:02	14:52	16:17	18:17	19:50
叶津	9:01	11:06	14:56	16:21	18:21	19:54
只見	9:05	11:10	15:00	16:25	18:25	19:58

上り	426便	2422便	428便	430便	432便	434便	2426便
会津川口	8:00	10:10	12:15	15:22	16:50	18:35	19:30
川口高校前	7:59	10:09	12:14	15:21	16:49	18:34	19:29
本名	7:55	10:05	12:10	15:17	16:45	18:30	19:25
湯倉入口	7:51	10:01	12:06	15:13	16:41	18:26	19:21
会津越川	7:46	9:56	12:01	15:08	16:36	18:21	19:16
会津横田	7:41	9:51	11:56	15:03	16:31	18:16	19:11
会津大塩	7:37	9:47	11:52	14:59	16:27	18:12	19:07
会津塩沢	7:25	9:35	11:40	14:47	16:15	18:00	18:55
会津蒲生	7:18	9:28	11:33	14:40	16:08	17:53	18:48
叶津	7:14	9:24	11:29	14:36	16:04	17:49	18:44
只見	7:10	9:20	11:25	14:32	16:00	17:45	18:40

	平日	3.5	3.2	0.9	7.6	2.7	4.6
平日	3.5	3.2	0.9	7.6	2.7	4.6	
土休日	7.7	4.4	3.0	6.0	1.0	1.9	
全日	4.9	3.6	1.6	7.1	2.1	3.7	

	平日	11.3	2.5	2.3	8.0	0.2	0.4	0.1
平日	11.3	2.5	2.3	8.0	0.2	0.4	0.1	
土休日	6.8	4.7	5.3	16.5	0.3	0.6	0.2	
全日	9.8	3.2	3.3	10.8	0.2	0.4	0.1	

2012年10月  
 利便性向上のため、代行バスを5便追加  
 ⇒2013年3月列車との接続改善により1便削減

2012年12月  
 地域の皆様のご要望を受け、停留所3箇所増設

2014年3月  
 代行バス3便追加  
 全ての便をマイクロバスに変更

	全便平均	1日平均
平日	3.6	47.2
土休日	4.5	58.6
全日	3.9	51.0

※ご利用延べ人数を集計



○会津川口～只見間の所要時間

鉄道 44分、バス 50分

○代行バスの収入・経費

運輸収入：約300万円(4年間平均)

運行経費：約5,300万円(2015年度実績)



○代行バス運休率 0.7%

2012年4月～2016年3月

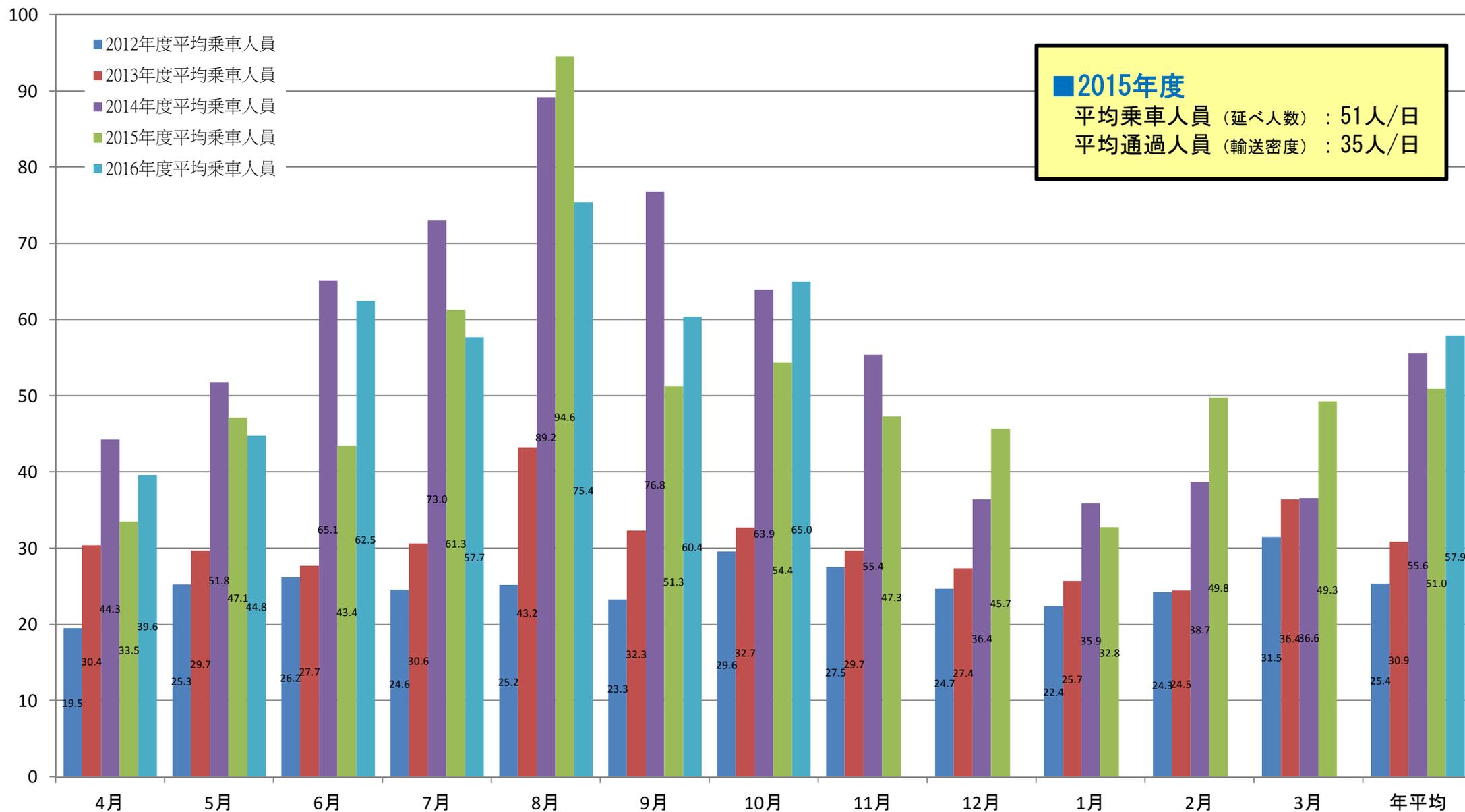
※同期間の只見線運休率

只見～大白川間：8.5%

会津若松～会津川口間：3.0%

# 只見線代行バスご利用状況の推移

(人) 1日あたりの平均乗車人員(ご利用延べ人数を集計)



# 地元自治体への説明及び協議・打合せ

## □JR只見線に関する打ち合わせ（主催 JR東日本）

（目的） 今後の只見線や地域交通のあり方について、情報交換や議論を行う。

（出席者） 東北運輸局鉄道部、福島県、只見町、金山町、東日本旅客鉄道（株）  
会津総合開発協議会、只見線活性化対策協議会

（開催実績） 2012年5月～ 計6回

## □JR只見線検討会議（主催 国土交通省鉄道局）

（出席者） 国土交通省鉄道局、東北運輸局鉄道部、福島県生活環境部  
東日本旅客鉄道（株）

※拡大会議：会津若松市、会津美里町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、只見町

（開催実績） 2013年11月～ 計17回

## □地元説明会等（主催 JR東日本）

### ○沿線首長等説明

2014年4月 会津若松市、会津美里町、会津坂下町、柳津町、三島町

### ○地元説明会

2014年8月 5日 金山町（町長、町議会議員、区長、商工会長他）

2014年8月 18日 只見町（町長、町議会議員、商工会長、観光まちづくり協会他）

### ○住民懇談会

2016年11月30日 会津若松市、会津坂下町、柳津町、会津美里町（新鶴公民館）

2016年12月 1日 只見町、三島町、金山町（金山町開発センター）

## □只見線復興推進会議検討会（主催 福島県）

（出席者） 福島県、会津若松市、会津美里町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、只見町  
国土交通省鉄道局（オブザーバー）、東日本旅客鉄道（株）（オブザーバー）

（開催実績） 2016年3月～ 計5回

# 会津川口～只見間収支状況の推移

(単位 百万円)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
<b>営業収益</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>5</b>
運賃収入	6	6	6	6	5
その他の収入	0	0	0	0	0
<b>営業費</b>	<b>321</b>	<b>286</b>	<b>348</b>	<b>329</b>	<b>335</b>
列車運行にかかる経費	298	259	300	278	280
線路の保守にかかる経費	208	156	174	163	172
信号・電気の保守にかかる経費	24	27	47	42	38
車両の保守にかかる経費	19	27	30	26	25
乗務員にかかる経費	48	49	50	47	46
駅業務にかかる経費	0	0	0	1	0
その他の経費	23	27	48	51	55
固定資産税	10	11	11	11	12
減価償却費	13	16	37	40	42
<b>営業損益</b>	<b>▲315</b>	<b>▲279</b>	<b>▲342</b>	<b>▲323</b>	<b>▲329</b>
<b>営業費/営業収益</b>	<b>53.5</b>	<b>47.7</b>	<b>58.0</b>	<b>54.8</b>	<b>67.0</b>

※上記の表は、特に同線に直接関係する収入・費用を切り分けて算出し、作成したものである。  
 ※上記の表において、会津川口駅及び只見駅に関する経費は、当該区間収支に含まない。

※小数点以下を切り捨てて表記しているため、合計値が合わない場合がある。

# 只見線区間別収支状況(2009年度)

(単位 百万円)

	(小出)～ 大白川間	(大白川)～ 只見間	(只見)～ (会津川口)間	会津川口～ (会津坂下)間	会津坂下～ (会津若松)間	只見線計
<b>営業キロ</b>	<b>26.0km</b>	<b>20.8km</b>	<b>27.6km</b>	<b>39.2km</b>	<b>21.6km</b>	<b>135.2km</b>
<b>営業収益</b>	<b>18</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>42</b>	<b>116</b>	<b>188</b>
運賃収入	17	5	5	41	113	183
その他の収入	1	1	0	1	2	5
<b>営業費</b>	<b>460</b>	<b>339</b>	<b>335</b>	<b>671</b>	<b>455</b>	<b>2,259</b>
列車運行にかかる経費	395	254	280	557	381	1,867
その他の経費	65	84	55	114	75	392
固定資産税	10	8	12	22	13	65
減価償却費	55	76	42	92	61	327
<b>営業損益</b>	<b>▲442</b>	<b>▲333</b>	<b>▲329</b>	<b>▲629</b>	<b>▲340</b>	<b>▲2,072</b>
<b>営業費/営業収益</b>	<b>25.6</b>	<b>56.5</b>	<b>67.0</b>	<b>16.0</b>	<b>3.9</b>	<b>12.0</b>
<b>沿線市町</b>	魚沼市	魚沼市、只見町	只見町、金山町	金山町、三島町 柳津町、会津坂下町	会津坂下町、会津 美里町、会津若松市	

※上記の表は、特に同線に直接関係する収入・費用を切り分けて算出し、作成したものである。  
 ※上記の表において、( )表記をした駅に關係する経費は、当該区間収支に含まない。

※小数点以下を切り捨てて表記しているため、合計値が合わない場合がある。

# これまでの取り組み事例

## ○びゅう旅行商品設定による奥会津への送客



びゅう旅行商品「ゆったりのんびり  
只見沿線のたび」

## ○イベント列車の運行(主な列車)

- ・「SL会津只見号」(2005年～2010年)
- ・「風っこ会津只見号」(2005年～2011年)
- ・「磐西・只見ぐるり一周号」(2005年～2010年)
- ・「風っこ奥会津号」(2012年～)
- ・「風っこ奥会津紅葉号」(2012年)
- ・「SL只見線奥会津号」(2012年)
- ・「風っこストーブ雪まつり号」(2012年～)
- ・「風っこ只見新緑号」(2013年～)
- ・「風っこ奥会津新緑号」(2013年～)
- ・「SL只見線紅葉号」(2013年～)
- ・「風っこ只見線紅葉号」(2013年～)
- ・「ポケモン只見線号」(2014年)



SLイベント



風っこ

## ○観光キャンペーンの開催

- 2005年 「あいづデスティネーションキャンペーン」
- 2006年 「この夏も会津へ2006」
- 2007年 「この夏も会津へ2007」
- 2008年 「この夏も会津へ2008」
- 2009年 「この夏も会津へ2009」
- 2010年 「この夏も会津へ2010」
- 2011年 「がんばっています！極上の会津」
- 2012年 「会津キャンペーン ～ありがとうのおもてなし～」
- 2014年 「プレDC 福が満開、福のしま。」
- 2015年 「ふくしまデスティネーションキャンペーン」
- 2016年 「アフターDC 福が満開、福のしま。」



ふくしまDCセレモニー  
(会津若松駅)



## ○その他

- ・駅からハイキング・駅長オスズの小さな旅
- ・奥会津にスポットを当てたTV特番の制作
- ・只見線をテーマとしたCM(行くぜ、東北)の制作
- ・首都圏への観光キャラバン
- ・駅貼り・車内吊りポスターの掲出
- ・トランヴェールへの記事掲載
- ・奥会津へのモニターツアー催行
- ・観光物産市の開催(産直市)



トランヴェール



産直市  
(上野駅)